

## ランチョンセミナー事前予約システムについて

このたびはランチョンセミナーのインターネットによる事前予約システムを試行しましたが、予想を上回るアクセスが短時間で集中し、一部の方になかなかログインできない等のご迷惑をおかけいたしました。予約システムを利用された皆さまには、深くお詫び申し上げます。

今回は、ランチョンセミナーの定員の7割を事前予約システムで、3割を従来通り当日ご用意する方法をとりました。これは、一部のランチョンセミナーで朝早く会場に来て長時間並んでいただくことのご不便の解消と、共催企業に事前の参加者の動向をお伝えするフィードバックサービスの向上ということがありました。

事前予約システムにおいては、ご用意予定のお弁当数を上回るアクセスが起こりますと、その中で優先順位をつけていくようなシステムは実質的に難しいため、上限以上のご予約が入ってしまわないように、以下のような2段階のアクセス制限をかけておりました。

### (1) ログイン時の人数制限（最大1,000リクエスト）

第一段階として、アクセス時にタイミングよく1,000名に入れませんとログインできない仕様でした。その後は、ログイン中の1,000名から誰かがログアウトすると、次にタイミング良くアクセスされた方がログインできる仕様となっていました。ログインできなかった方に対して「現在予定ログイン数を超過しておりますので、時間をおいて再度ログインをお試し下さい」というメッセージではなく「エラー表示」が出てしまったため、混乱を招く結果となってしまいました。実際にはサーバのダウンなどは起こっておりませんでした。

(2) 第二段階として、ログインされた方が次にランチョンセミナーを選んで申し込む時点で、お弁当の残数をシステム内で確認しつつ、リクエスト数の交通整理を行うという仕様となっております。

今回の事前予約システムは新しい試みではありましたが、多くの方々に不便さと不快感を与えてしまう結果となり、申し訳ございませんでした。（従来の方法に戻すことも含めて）何らかの改善の検討が必要と感じております。具体的には

(1) あるランチョンセミナーを聞きたい場合、朝早くから並ぶという「努力」ではなく、予約システムへのアクセス時のタイミングという「運」で予約が取れるかが決まってしまうことが、不評であった。

(2) 参加者の方々の心理として、従来は空きがある程度残るはずのランチョンセミナーに

も、事前予約が必要というだけで過剰な人気が出てしまい、結果として短時間で予約終了となってしまった。

(3) 事前予約システムと当日の割り当てが7：3で良かったかどうか、検討する必要がある。

(4) 事前予約を採用する場合、ランチョンセミナーの定員の見直し、ある程度の定員増加が必要かもしれない。

これらの点につきましては、皆さまの御意見とともに次回の年次大会へ引き継ぎを行う予定ですので、よろしくお願いいたします。

第38回日本分子生物学会年会  
年会長  
影山 龍一郎  
(京都大学 ウイルス研究所)

第88回日本生化学会大会  
会頭  
遠藤 斗志也  
(京都産業大学 総合生命科学部)